軌道要素関連のお仕事

Ver.1 2001.09.10 by T. T. ISHII

File : /home/flare/com/yohkoh/ssoc_jman/elements.tex

Ver.1

もとネタは日本語の方便マニュアルです。ちょっと付け足しました。

毎週火曜に新しい軌道要素が届くので、それを計算機に追加して AOSLOS を出力する。

1　新しい軌道要素の登録

1.1　大型計算機にきたことを確認

```
logon tss s88239
        password -> solar##            ##は月
READY
traj
23      ORBIT   ELEMENT   LIST(ALL) を選ぶ。
8       YOHKOH を選ぶ。
1       新しい日付のものが来ていることを確かめる。
1                   来てなければ時間をおいて、また確かめる。
```

ここで、1 を押して反応がなくても、PF3 で抜けてよい。

PF3 でどんどん抜ける。

1.2　シリウスに登録されたことを確認

大型計算機に新しい軌道要素が来ていたら、次に、シリウスに登録されたかを確認する。

```
READY
srs inf
1       satellite and planet data
5       Solar-A, Yohkoh
21      orbit elements data
                一番下に新しい日付が加わったことを確認する。
                      追加されていなかったら、時間をおいてまた確かめるか、
                      世古さん経由でシリウスの人に催促する。
```

PF3 でどんどん抜ける。

1.3　新しい軌道要素をファイルに追加

シリウスに登録されたら、軌道計算用のファイルに新しい軌道要素を追加する。

```
READY
pfd 2
画面かわって
        PROJECT==> S88239        ライブラリとかカタカナで書いてあるかも
        LIBRARY==> SA
        TYPE==>    CNTL
        MEMBER==>  element   <--ここを書き込む
Enter を押す
画面ががかわって
        COMMAND==> sub       <--ここを書き込む
Enter を押す
これで、最新の軌道要素が追加された。
PF3 でどんどん抜ける。
```

2　AOSLOS の計算

軌道要素の登録が終ったら、翌日から10日分ほどのAOSLOSを計算させる。計算時間は約30分。計算が終ったら、結果をプリントアウトして、翌日からのアンテナチェック等に使用する。

```
READY
pfd 2
        PROJECT ==>  S88239
LIBRARY ==>  SA
        TYPE    ==>  CNTL
        MEMBER  ==>  AOSLOS  <--ここを記入
Enter を押す。
エディタ画面になるので編集する。
        例
        1993  01  18   00 00 00 (start)  <--  翌日（水曜日）から
        1993  01  28   00 00 00 (end)    <--  約10日分を指定する
PF12 を押す。
コマンドラインに戻るので
        COMMAND ==> SUB      <--ここを記入
Enter を押す。
        job が submit される。
PF3 でどんどん抜ける。
```

ジョブの実行を確認する。

```
READY
st
        S88239? --- executing となっていれば OK
```

st(りたーん)の結果がwaitng for outputとなったら終了なので
プリントアウトする。

```
READY
st
```

終了確認

```
READY
xst
```

ジョブ名の確認 (S88239?の?の部分を確認する)

プリントアウト

```
READY
out s88239? new(d)        <-- ?は上で確認した文字を入れる
```

軌道要素は、Wallopsに E-mailで自動送信されるので、それを確認する。具体的には、software@iasass5から軌道要素を含んだE-mailが届いていればOK。

自動送信がうまくいってない場合には、プリントアウトを使ってFAXで送信する必要がある。やり方は以下のとおり。

まず、軌道要素をプリントアウトする。

```
READY
traj
23      ORBIT ELEMENT LIST(ALL) を選ぶ
8       (YOHKOH)
1
1
```

PF3で抜けていく。

```
READY
logoff               一旦抜けて入りなおすと
logon tss s88239     プリントアウト待ちのものが表示されるので、
READY                Tnnnn の部分を確認する。
out s88239(Tnnnn) new(d)
                  ^^^^^
```

プリントアウトの中身のうち、
PAGE2以外の7枚をJPLの三箇所にFAXする。

[F3 複数宛先] → [03 JPL Diem Tu] → [05 JPL Len Efron]
→ [06 JPL M-M Navigation] → [スタート]